

令和3年11月22日

報道関係者 各位

香川県農業協同組合

## JA 香川県豊南地区 GAP 研究会が JGAP 団体認証取得を報告 令和3年11月25日 JA 香川県理事長へ

JA香川県豊南地区GAP研究会は、GAPに取り組むことで、農場及び集荷場における様々な労働事故や食品事故の危険性を低減し、持続的で安定した営農を行うこととし、これを認証という形をもって継続し、市場および消費者に証明するため取り組みを開始しました。

このたび、JGAP団体認証を取得したことを、同研究会の生産者5名がJA香川県代表理事理事長を訪問し報告します。

### 1. 報告会について

- (1) 日時 令和3年11月25日(木) 15時30分から16時30分
- (2) 場所 香川県JAビル6階 役員会議室  
高松市寿町一丁目3番6号(※香川県JAビル用の駐車場はありません)
- (3) 参加者 JA香川県豊南地区GAP研究会  
生産者 近藤 雅彰 様 株式会社 土緑家(どりょくか)  
大西 規夫 様 株式会社 中大(ちゅうおお)  
苅藪 健司 様  
鈴木 章弘 様  
高橋 健太 様
- (4) 内容 ・研究会からJGAP団体認証の内容や取得までの経緯、今後の活動について説明します。  
・写真撮影

取材いただける場合は、事前に下記のお問い合わせまでご連絡をお願いします。

### 2. 認証の内容等

- (1) 認証作物  
レタス、ロメインレタス、たまねぎ、ブロッコリー、にんにく、ねぎの6品目
- (2) 認証団体名・取組み者  
認証団体名：JA 香川県豊南地区GAP研究会  
事務局： JA 香川県豊南地区営農センター  
構成農場： 5経営体(2法人、3個人の生産者)

(3) 認証までの準備

農場と事務局の間で、GAPについての勉強会や、共に遵守していくマニュアル作りなど度重なる話し合いを行いました。これに加え農場及び集荷場などの現場整備についても改善の必要性やその手法について何度も検討を行い、改善を進めてきました。

豊南地区では初めての取り組みでしたが、JA全中のJAグループGAP支援チームのコンサルや普及センター、JA営農部営農企画課など関係機関の手厚い支援のもと認証を取得することができました。

(4) 今後の取り組み

豊南地区管内全体において、安定した営農の基盤を築いていくために、1人でも多くの農家に取組んでもらえるよう、十分な説明と対話による丁寧な対応を行っていきます。

### 3. JGAP 団体認証取得日

令和3年10月19日 (火)

#### ※ GAPとは

GAPとは Good Agricultural Practice の頭文字を取ったものであり、直訳すると「よい農業のやり方」となります。農林水産省では農業生産工程管理と呼んでいます。

国内でのGAP認証には、JGAP、ASIAGAP、GLOBALG.A.P等があります。

#### ※ JGAPとは

JGAPは、「食品安全」・「労働安全」・「環境保全」・「人権福祉」など持続可能な農場経営への取り組みに関し、日本の標準的な農場にとって必要十分な内容を網羅した基準となっています。

この取り組みを自らチェックし、この取り組みについて客観的な第三者機関の審査を通過することで認証が取得できます。

#### ※ 団体認証とは

複数の農業経営体（生産者）が同じ規定を設けて取組んだものに対して認証を受けることを「団体認証」と言います。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

豊南地区営農センター 園芸課 担当：藤村 電話 0875-54-3124

※ 情報提供：JA香川県企画管理部企画広報課 電話：087-825-1233